

# インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) チュウオウダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) ミウラゼミ
中央大学	商学部	三浦ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) パンチエッタブラザーズ	フリガナ) シノ ユウマ	6	無	無
パンチエッタブラザーズ	椎野佑真			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

無

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

道の駅を拠点とした地域振興 ～地域ツアーから防災まで～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

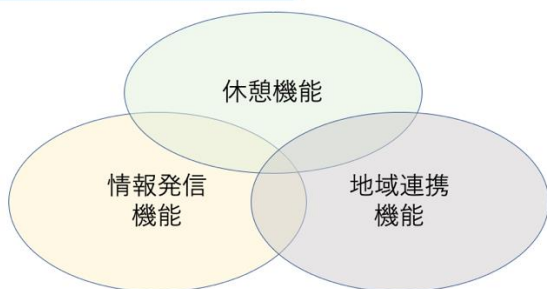
## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

道の駅は近年、年々登録件数が増加しており、地域に対する影響力もそれに伴って増加し続けている。国土交通省は道の駅を「地域と共に作る個性豊かな賑わいの場」と定義しているが、私たちは近年の道の駅は買い物と休憩だけの施設として主に機能していることに気づいた。そこで、調査で知り得た来場者の「地域との交流の充実」や「道の駅で知ることができる情報の充実性」などの「買い物」や「休憩」以外の需要に応えるため、道の駅の新たな機能展開を提案する。具体的には、地域ツアーの拠点に道の駅を利用することで、地域全体で情報共有が出来るようにする。更にこの情報で構築されるネットワークを活用し、道の駅が災害時に防災機能の担い手としての更なる発展をすることを期待し、結果的に地域振興を促進することを目的とする。

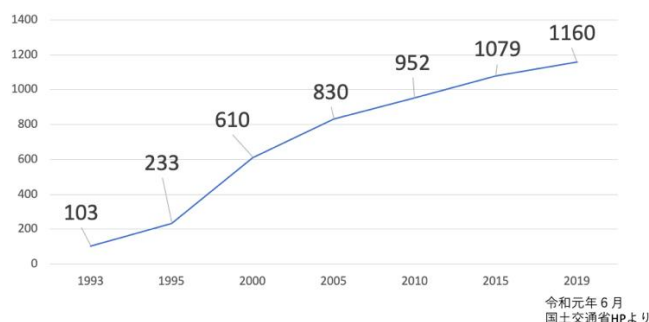
## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在の日本では長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーも増加していることから一般道路にも休憩のために自由に立ち寄り利用することができる環境が求められている。そのような環境を提供できるのが道の駅であり、道路利用者への道路交通環境の提供を目的とする「休憩機能」、地域の振興に関与することを目的とした「情報発信機能」そして「地域連携機能」という3つの機能を併せ持つ休憩施設である。具体的に「休憩機能」とは24時間無料で利用できる駐車場やトイレが備わっているものである。「情報発信機能」とは道路情報・地域の環境情報・緊急医療情報などを提供するものである。「地域連携機能」とは文化教養施設・観光レクリエーション施設などの地域振興施設を設置し、地域との連携を深めるものである。これら3つのコンセプトが機能することにより「地域と共につくる個性豊かな賑わいの場」を提供することができる。道の駅登録件数は1993年においては103件だったが2019年は1160件と10倍以上に伸びている。また、道の駅は地元の野菜が新鮮で安く、道の駅のみで販売されている特産品などもあり、地元住民と観光客の両方から需要がある。

#### 道の駅のコンセプト



#### 道の駅登録件数の変化



### 3. 研究テーマの課題

街頭インタビュー・アンケートの結果から、道の駅の利用方法としては実際に買い物ほとんどを占めているが、利用には買い物以外への需要も一定数あることが分かった。そこから道の駅の潜在的可能性を発見し、買い物以外における機能展開を行うことを決めた。機能展開では、道の駅のコンセプトである地域連携機能・休憩機能・情報機能を軸に地域でネットワークを形成することが必要だと感じた。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

地域ツアーを企画し、新たな機能展開を図る。道の駅を運営とし、ツアーの案内人を地域住民から募る。ツアー利用者は道の駅が紹介する案内人を自由に選択することができる。また案内人への評価制度を設けることで、利用者へ安心感や信頼を与えることに加え、案内人同士の競争力アップ、アテンド技術の向上を期待する。また、ツアーを通して得られた利用者の声を道の駅に伝えることで、さらなる発展を期待する。地域ツアーの拠点を道の駅にし、近くの観光地等の情報を道の駅に収集すると同時に、来場者に発信していくことで地域全体での情報共有を試みる。また、そこで構成された地域ネットワークを活かして、災害時に地域と連携を図り、防災機能を拡充させる。道の駅が地域全体と連携することで、地域活性化に繋げる。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

「道の駅どうし」「道の駅滝山」で115名の方を対象に実際にインタビュー、アンケートを行い、「利用目的、利用頻度、道の駅に求めるもの」の三点を調査した。

山梨県にある「道の駅どうし」では県外からツーリングできている人や、単純に道中で休憩のために初めて利用する人が多く見られたのに対し、八王子市の「道の駅八王子滝山」の利用者の多くは安く新鮮な野菜を求めている常連の地元の方々が頻りに利用していることが調査の結果分かった。「道の駅八王子滝山」「道の駅どうし」の双方ともに「地域の人との交流の場になってほしい」、「地域の情報を知りたい」という意見があったことから買い物以外にも需要があることが分かった。

### 6. 結果や今後の取り組み

考えた提案を道の駅の職員に対して行った。道の駅の職員から、地域ツアーの拠点化について「やってみたら面白い」という意見をいただいた一方で「ツアー案内者の募集方法・研修をどうするか、案内料金の設定方法」が課題であるという指摘をいただいた。防災拠点の拡大については、現在、全国の道の駅で取り組んでいるが、導入費などの問題もあり、うまく進んでいないことがわかった。

これらの意見を含め、地域ツアーの拠点化する際の案内人の活用方法・防災拠点の導入費用に対してこれからどのようなアプローチを行うかが重要である。

## 7. 参考文献

- ・東洋経済 ONLINE「なぜ道の駅は儲からなくても店を出せるのか」、  
<https://toyokeizai.net/articles/amp/58373?page=3>、2019年/8月/25日 時点
- ・国土交通省「道の駅について」、[https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/local\\_economy/04/haifu\\_04\\_1.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/local_economy/04/haifu_04_1.pdf)、2019年/8月/25日 時点
- ・国土交通省 関東地方整備局「道の駅」を取り巻く状況について」、  
[http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000624579.pdf](http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000624579.pdf)、2019年/8月/26日 時点
- ・秋山聡、小宮隆之「道の駅」の多様な機能展開について」、JICE REPORT、  
[http://www.jice.or.jp/cms/kokudo/pdf/tech/reports/35/jice\\_rpt35\\_22.pdf](http://www.jice.or.jp/cms/kokudo/pdf/tech/reports/35/jice_rpt35_22.pdf)、2019年/8月/26日 時点
- ・近畿管区行政評価局「道の駅」の機能向上に関する調査 ―防災機能及びバリアフリー化を中心として―  
]総務省、[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000607961.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000607961.pdf)、2019年8月/26日 時点
- ・JAF PLUS「道の駅」に関するアンケート結果」、  
[https://jafnavi.jp/JAFDATA/018/enq\\_RoadStation.pdf](https://jafnavi.jp/JAFDATA/018/enq_RoadStation.pdf)、2019年/8月/31日 時点
- ・「多様の機能を持った道の駅の整備について」、<https://www.mlit.go.jp/road/ir/kihon/23/5-2.pdf>、2019年/8月/31日 時点
- ・道路局「重点「道の駅」の選定について ～地方創生の核となる「道の駅」を重点的に応援します～」、国土交通省、<https://www.mlit.go.jp/common/001080022.pdf>、2019年/8月/31日 時点

### <企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合は、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください